



## 路上駐車に「レッドカード」 地域全体の安全性を脅かす深刻な問題

札苗中町内会



札苗中町内会  
藤井 勇吉 会長

路上駐車は除雪の大敵。たった一台の配慮を欠く車のために、除雪作業が大幅に遅れることがあります。そうした迷惑駐車の防止に取り組み札苗中町内会の藤井勇吉会長にお話を聞きました。

路上駐車の取り締まりを始めたきっかけをお聞かせください。

藤井さん この周辺は昔からの住宅街ですが、近年、自家用車を複数所有する家庭も増え、付近の路上駐車が目立ち始めました。そのため、歩道がふさがっていることも多く、通学する子供たちでさえも車道を歩かざるを得ませんでした。そうした状況に歯止めをかけるとともに、冬場の除雪作業を円滑に進めてもらうためにも、町内会の総意の下、取り締まりを始めることにしたんです。

具体的な活動内容は？  
藤井さん 町内会長の私と、副会長、

交通部長の三人で、通勤前と夜間の一日二回、地域内をパトロールしています。迷惑駐車にはステッカーを張るだけでなく、特に悪質な場合は、警察への通報を予告しています。

集合住宅の多い地域では、冬場の路上駐車は、深刻な問題のようですね。

藤井さん 路上駐車が除雪の妨げになり、ひどい場合には、除雪できないこともあるようです。そうした状況では、歩行者の通行がままならないだけでなく、救急車や消防車が入れず、地域全体の安全性をも脅かしているといえます。

今年の活動の手応えはいかがですか？



## 地域で実践「福祉除雪」 学校ぐるみで高齢者・障害者世帯の除雪を援助

学校ぐるみで高齢者・障害者世帯の除雪を援助

清田区  
北野中学校

昨年度は市内全域二千八百五十世帯で試行実施した「福祉除雪」。この制度は、自力で除雪することが困難な高齢者・障害者世帯を対象に、間口や敷地内の除雪を手伝うものです。清田区の地域協力員

として除雪を行っている北野中学校二年の大橋翔太君と山田法道君にお話を聞きました。  
北野中学校は、学校ぐるみで福祉除雪に協力しているそうです。



除雪作業の妨げとなる路上駐車



取り締まりは、冬場だけでなく、夏場も行っている札苗中町内会。「路上駐車は認めない」という意識を地域に浸透させることで、一年を通じた快適な暮らしを目指しています。

藤井さんある通りでは、最近、めっきり路上駐車を見掛けなくなりました。今後も、戸別訪問などの啓発活動にも力を入れ、住み良い街を実現していきたいですね。

## 3路線7区間

市では、スタッドレスタイヤの導入をきっかけに、ロードヒーティングの整備を進めてきました。しかし、ロードヒーティングは維持管理に多額の費用が掛かるだけでなく、老朽化に伴う改修費用が膨らむことも見込まれています。このため、今後は、安全性に配慮しながら、凍結防止剤散布強化と除雪による路面管理という手法に切り替えていく方針です。この冬は、左表の通り、厚別区と豊平区内の三路線七区間でロードヒーティングを停止します。

## ロードヒーティング停止箇所

区	街路名	住所
厚別	南郷通	青葉町1 (市内方向)
		厚別中央1の5 (市外方向)
豊平	白石・藻岩通	平岸4の13 (月寒方向2区間)
		平岸7の15 (市内方向)
		西岡3の3 (清田方向)
	羊ヶ丘通	福住2の5 (市内方向)

## 6カ所

都市化が進展する札幌市内では、雪たい積場を確保するのが年々難しくなっています。そこで、市では、雪たい積場を補完し、将来にわたって活用できる融雪槽の整備を進めています。現在稼働している融雪槽は六カ所。清掃工場の余熱や下水処理水などを有効に活用するので、環境に優しいのも大きな特徴です。